

---

目次

.....  
【1】 --- 教員コラム 17 弾 第 4 回「旧図書館の思い出」小児科／家原知子

.....  
【2】 --- CINAHL に便利な機能が追加されました

.....  
【3】 --- 「令和 4 年度博士論文の要約及び審査要旨」を橘井にアップしました

.....  
【4】 --- 9/11(月)-15(金)下鴨館 臨時休館

.....  
[ Book Review ] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

---

【1】 --- 教員コラム 17 弾 第 4 回「旧図書館の思い出」小児科／家原知子

.....  
私が医師になった時には旧図書館（現在の本部棟）は現役でした。もちろん学生時代もそこに図書館はありましたが、卓球部員であった私にとっては、旧図書館棟は地下の卓球場の使用がメインで、階段を上って格調高い図書館に入るのはおこがましいと勝手に思っていました。

医師になってすぐに上級医から図書館で担当の患者さんの疾患について調べるように指導を受けました。どうやって文献を調べるのかもわからず、上級医に英語の論文はインディックスメディアクス、日本語の論文は日本医学中央雑誌といういずれも重厚な何冊もある検索本でまず必要な項目を探して、そのタイトルから興味ある文献を推定してピックアップすること、ピックアップした論文は図書館の棚に自分で探しに行くこと、内容を見て必要と思えばコピーして、自分の物にすることを教えていただきました。夕方になると、図書館棟の階段を昇り、黴臭い匂いが漂う天井まで整然と書籍が並んだ空間に身を寄せました。狭い図書館に沢山の先生方がおられるにも関わらず、そこはとても静寂でした。先の文献検索を行って必要と思われる文献のリストを必死にメモし、目的の書棚上段へ梯子を使って辿り着いても、どなたかが持ち出されていると、その論文は見ることはできません。やっと目的の論文に巡り合ってコピーをしようとしても、入り口付近の一、二台だけのコピー機は、ベテランの先生方が使用されていると、順番を永く待たなければなりません。コピーの順番を待つ間、若輩医師は座ることもできず重たい書籍を抱えて立って待っていました。コピー

機の使用は確か一枚 10 円で多数の 10 円玉を持っていったように記憶しています。こうして、やっと手に入れた論文は、私にとっては貴重品で丁寧に読んだのを覚えています。

今は自室のパソコンから WEB 検索で簡単に多数の目的の論文を得ることができるようになりました。論文の読み方に慣れたためか有難さが薄くなったためか丁寧に読むことが無くなったかも知れません。今でも重要な論文はパソコン上の PDF ではなく、紙に印刷して読む癖は研修医時代のなごりかもしれません。あの夏の黴臭い匂いの場所は嫌いではなかった空間です。

過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

---

## 【2】 --- CINAHL に便利な機能が追加されました

.....

看護に関するジャーナル(英語)と全米看護連盟、米国看護師協会の出版物を網羅しているデータベース、[CINAHL](#)(シナール)に、2つの機能が追加されました。

### ①MeSH の自動表示

キーワードで検索すると、右横に MeSH 用語、関連語を候補語として表示

### ②ライフサイエンス辞書へのリンク

上部に生命科学(ライフサイエンス)分野のオンライン辞書を設定

---

## 【3】 --- 「令和 4 年度博士論文の要約及び審査要旨」を橘井にアップしました

.....

京都府立医科大学リポジトリ [橘井](#)(きっせい)に、令和 4 年度に本学で授与された博士学位論文の要約・審査要旨を追加しました。主論文の全文は「リンク」から閲覧できます。オープンアクセスまたは本学契約ジャーナルに掲載されている場合はフリーで閲覧可能です。

※2023/8、京都府立医科大学リポジトリ「橘井」は、JAIRO Cloud(WEKO3)移行に伴い、リニューアルしました。

---

#### 【4】 ---9/11(月)-15(金)下鴨館 臨時休館

---

下鴨館(歴彩館 2 階) は以下の期間、休館します。

<蔵書点検> 2023/9/11(月)~15(金)

ご不便をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

---

#### [Book Review]

---

上橋菜穂子「獣の奏者」(講談社, 2008 年)

昨年の[教員コラム](#)で、榎村先生が推薦しておられた上橋菜穂子作品のひとつ。主役はエリンという女性。霧の民種族の母親は聡明で強く、リョザ神国王も女系。闘蛇や王獣という、恐ろしい獣も登場する。謎の多い王獣は、時にモフモフで愛らしい。

「I 闘蛇編」「II 王獣編」で一旦話は完結するが、京都市図書館で予約して「III 探求編」「IV 完結編」と、2 週間で一気に読んだ。ティーンズ向けとはいえ、政治や生物の生態、教育や医療、遺伝、音響工学など、話は自在にふくらむ。

エリンはずっと探求し続ける。「人は群れで生きる獣だ。群れをつくっているひとりひとりが、自分が何をしているのかを知り、考えない限り、大きな変化は生まれない」

記録を残すこと、真実を知ること、考え続ける事の重要性は、現在に生きている我々も同じ。まだ「V 外伝 刹那」も残っている。読みたい本があるのは、幸せすぎる。

(C.H.)(京都市中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です。)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4062764466>

---

図書館メール News 第 499 号      2023.8.31 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

[library@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:library@koto.kpu-m.ac.jp)

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

---

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>